Form No. 3429-511 Rev A

62" ブロアキット

Groundsmaster® 200/3280-D/3320 シリーズ側方排出ロータリーデッキ

モデル番号30506—シリアル番号 403000001 以上

オペレーターズマニュアル

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

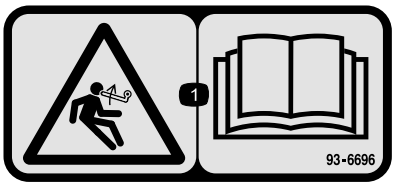
⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

安全について

安全ラベルと指示ラベル

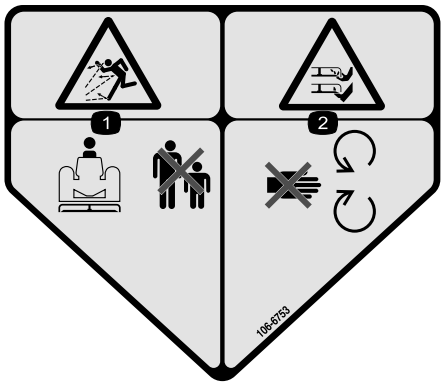
危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal93-6696

93–6696

1. 負荷が掛かっている危険 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。



decal106-6753

106-6753

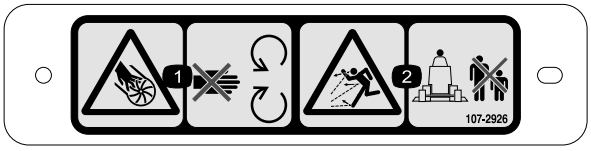
1. 異物が飛び出す危険人を近づけないこと。
2. ブレードによる手足切断の危険可動部に近づかないこと



decal93-7301

93–7301

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。
2. 物体が飛び出す危険 すべてのガード類を正しく取り付けて使用し、可動部に近づかないこと。



decal107-2926

107-2926

1. インペラによる手の切断の危険可動部に近づかないこと。
2. 異物が飛び出す危険人を近づけないこと。



decal133-8061

133-8061

© 2019—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3429-511 A

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	カッティングユニットを取り外します。
2	ダブルプーリ プーリナット ナットカバー	1 1 1	新しいスピンドルプーリを取り付けます。
3	ブレード	3	新しいブレードを取り付けます。
4	ピボットブラケット	2	デフレクタを取り外しまたは改造します。
5	ブロアアセンブリと取り付けブラケット キャップスクリュ, 5/16 x 1" ロックナット, 5/16 キャリッジボルト, ⅜ x ¾" フランジナット, ⅜"	1 3 4 4 3	ブロアの取り付けブラケットを取り付けます。
6	前デフレクタ 後デフレクタ 後シェルフ 左シェルフ 右シェルフ キャップスクリュ, 5/16 x ⅝" ロックナット, 5/16" キャップスクリュ, ⅜ x 1" ロックワッシャ, ⅜" キャップスクリュ, ¼ x 1" キャップスクリュ, ¼ x ¾" ロックナット, ¼"	1 1 1 1 1 6 6 4 4 3 3 6	デッキデフレクタを取り付けます。
7	デフレクタストップ キャップスクリュ, ¼ x ¾" ロックナット, ¼"	1 2 2	新しいデフレクタストップを取り付けます。
8	アイドラアームアセンブリ ピボットねじ ブッシュ ワッシャ ロックナット, ⅜" スプリング ねじ山付きロッド フランジナット, 5/16" スプリングブラケット キャップスクリュ, ¼ x 1" ロックナット, ¼"	1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2	アイドラアセンブリを取り付けます。
9	ベルト	1	ブロアを取り付ける。

手順	内容	数量	用途
10	バンパー キャップスクリュ, 5/16 x 3" ロックナット, 5/16"	1 4 4	バンパーを取り付けます。
11	トリムモールディング デッキカバー	1 1	新しいデッキカバーを取り付けます。
12	ベルトガード プーリガード	1 1	新しい安全ガードを取り付けます。
13	カウンタバランスのスプリング	1	新しいカウンタバランススプリングを取り付けます。
14	必要なパーツはありません。	–	トラクションユニットにカッティングユニットを取り付けます。
15	デカル, 警告用	1	新しいデカルを貼り付けます。
16	シュート・アセンブリ	1	ブロアハウジングのシュートを取り付けます。

その他の付属品

内容	数量	用途
取り付け手順書	1	取り付け前にお読みください。
認証証明書	1	CE 規格適合の認証書です。

1

カッティングユニットを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

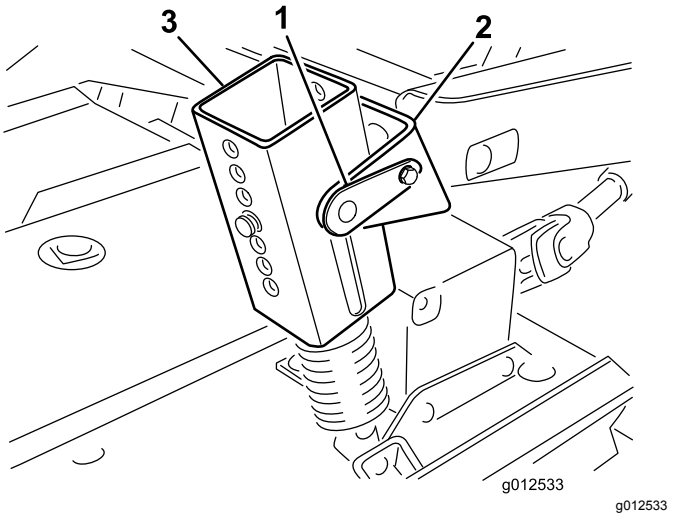
1. 平らな場所に駐車し、刈り込みデッキを上昇させ、駐車ブレーキを掛け、走行ペダルがニュートラルに戻っていること、PTO レバーが OFF位置になっていることを確認し、エンジンを停止し、キーを抜き取る。

   ⚠ 注意

   デッキが下がった状態のときはカウンタバランスのスプリングに張力が掛かっている 200 シリーズのトラクションユニット。

   スプリングの調整や取り外しを行う場合は必ずデッキを上昇させた状態で行うこと。

2. 200 シリーズのトラクションユニットのみトラクションユニットからカウンタバランスを外してブラケットからロックピンを抜き、スプリングテンションアセンブリをブラケットから分離してデッキの上に置く。ロックピンは紛失しないようにブラケットに止めておく図 1。

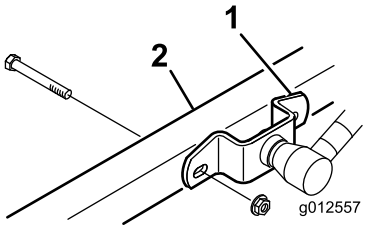


g012533

図 1

1. ロックピン
2. ブラケット
3. スプリングテンション・アセンブリ

3. カッティングユニットを下降させ、昇降アームブラケットをキャスタアームに固定している4本のボルトとナットを外す図 2。

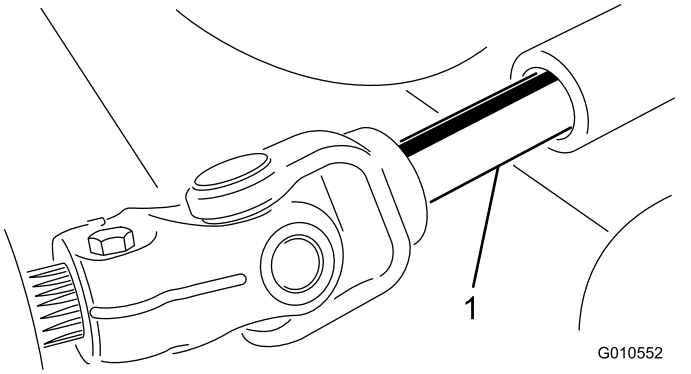


g012557

図 2

1. 昇降アームのブラケット　　2. 右側キャスタアーム

4. エンジンを始動し、トラクションユニットの昇降アームを上昇させる。
5. エンジンを停止させ、カッティングユニットをトラクションユニットの下から抜き出し、PTO シャフトのオスメスの接続部分を解除する図 3。



g010552

図 3

1. PTO シャフト

⚠ 注意

PTO シャフトを接続したままでエンジンが始動すると重大な人身事故が発生する恐れがある。

PTO シャフトがカッティングユニットのギアボックスに接続されるまでは、エンジンを始動してPTOレバーを操作してはならない。

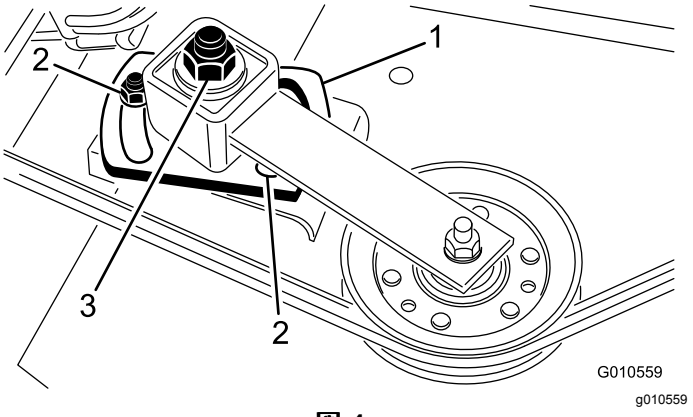
2 新しいスピンドルプーリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ダブルプーリ
1	プーリナット
1	ナットカバー

手順

1. 右カバーを刈り込みデッキの上部に固定しているラッチを外す。刈り込みデッキからカバーを外す。
2. アイドラプレートを固定しているナット 2個 を外してアイドラプーリがベルトを押す力を解除する 図 4。



g010559

図 4

1. アイドラプレート　　3. アイドラ調整ナット
2. ナット2個

3. 右スピンドルプーリからベルトを取り外す 図 4。
4. スピンドルハウジングアセンブリを刈り込みデッキに固定しているキャリッジボルトフランジナット各6を外す図 5。刈り込みデッキの下からスピンドルハウジング・アセンブリを引き出す。
5. プーリをスピンドルシャフトに保持しているナットとワッシャを外す。シャフトからプーリを取り外す。
6. スピンドルシャフトに新しいダブルプーリを取り付ける。プーリナットはまだ取り付けないでください。
7. スピンドルハウジングアセンブリのプーリ側の端部を刈り込みデッキの穴に入れ、プーリとアイドラにベルトを掛け回す。スピンドルアセンブリを取り付けるキャリッジボルト6本と、フランジナットを使用する。

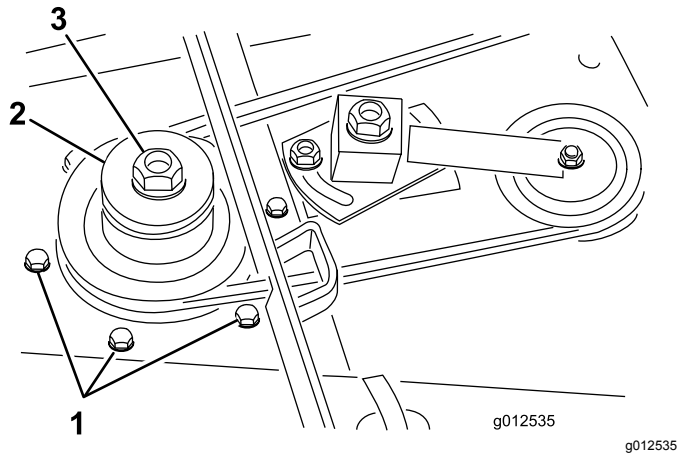


図 5

1. キャリッジボルト
2. 二重スピンドルプーリ
3. プーリナット

8. スピンドルシャフトに既存のワッシャと新しいプーリナットを取り付け、135.5 N·m 13.8 kg.m = 100 ft-lb にトルク締めする。ナットカバーを取り付ける。
9. アイドラ調整ナットを48-54 N·m 4.8-5.5 kg.m= 35-40 ft-lb に締め付けてベルトに適切な張りを与える。アイドラプレートナットを締めつける。

3

新しいブレードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

3	ブレード

手順

1. 厚いパッドの入った手袋を使ってブレードの端部をしっかり握る。スピンドルのシャフトからブレードボルト、芝削り防止カップ、ブレードを取り外す 図 6。

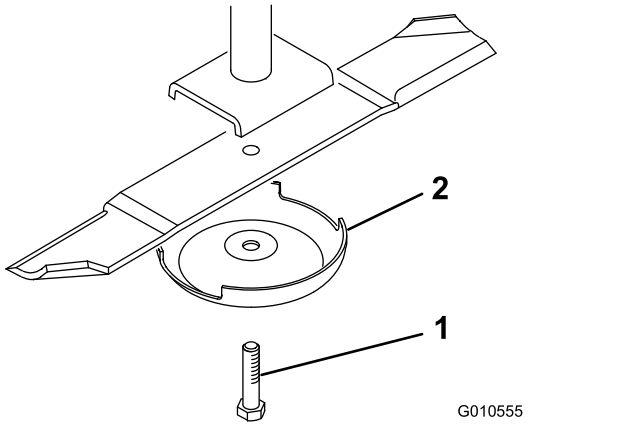


図 6

1. ブレードボルト
2. 芝削り防止キャップ

2. 研磨できたら、ブレードを取り付けセール部がデッキの天井側にくるように、芝削り防止カップを取り付ける。ブレードボルトを取り付ける。各ブレードボルトを 115-149 N·m11.8-15.2 kg.m = 85-110 ft-lbにトルク締めする。
3. 全部のブレードについて上記の作業を行う。

4

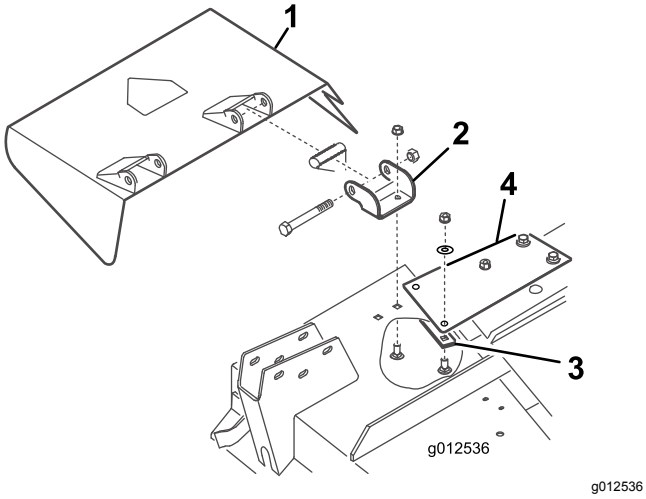
デフレクタを取り外すまたは改造する

この作業に必要なパーツ

2	ピボットブラケット

手順

1. デフレクタマウントをピボットブラケットに固定しているボルト本、ロックナット、スプリングを外す(図 7)。デフレクタを取り外す。
2. ピボットブラケットをハウジングに固定しているキャリッジボルトとフランジナットを外す図 7。ピボットブラケットを取り外す。外したボルト類は将来に備えて保管する。
3. 補強プレートをハウジング下側に、また、スティフナプレートをハウジング上部に固定しているキャリッジボルト2本、平ワッシャ、ロックナットを外す図 7。

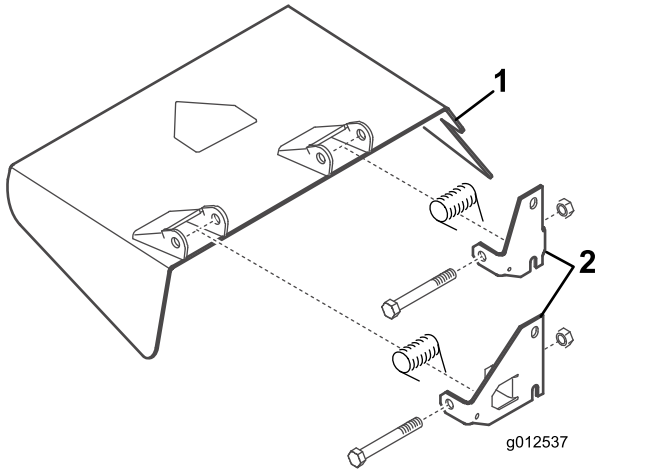


g012536

図 7

1. デフレクタ
2. ピボットブラケット
3. 補強プレート
4. スティフナプレート

4. 先ほど取り外したボルト、ロックナット、スプリングを使用して、新しいピボットブラケットをデフレクタマウントに取り付ける 図 8。ブラケットはピボット動作できなければならないので、ナットを締め付け過ぎないようにすること。側方排出で使用する時のためにこのアセンブリを保管する。



g012537

図 8

1. デフレクタ
2. ピボットブラケット

5

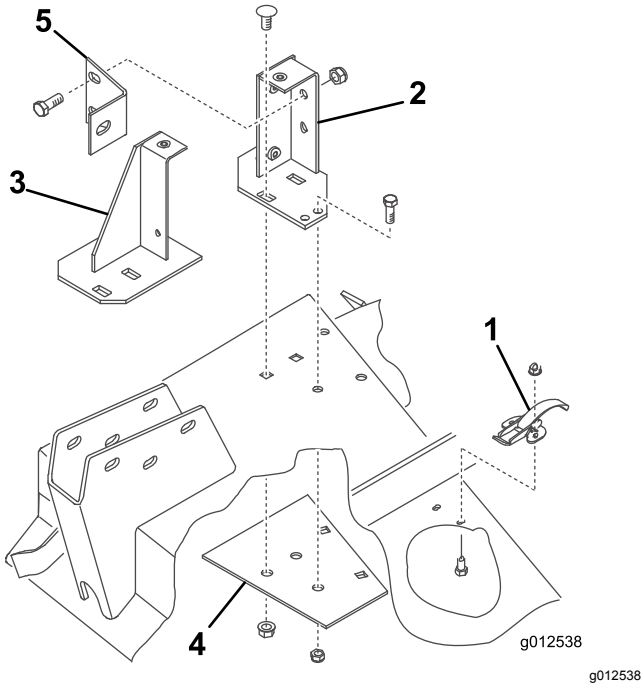
ブロアの取り付けブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブロアアセンブリと取り付けブラケット
3	キャップスクリュ, 5/16 x 1"
4	ロックナット, 5/16
4	キャリッジボルト, ⅜ x ¾"
3	フランジナット, ⅜"

手順

1. 右側デッキカバーのスプリングラッチを刈り込みデッキの右側に固定しているねじ類を外す図 9。ラッチは右側カバーと共に保管する。
2. ブロアと取り付けブラケットを、デフレクタを取り付けていた穴に合わせてデッキの上にセットする。図 9 はブロアなしのブラケットのみを示している。ブロアと刈り込みデッキとの間にすきまを作らないようにすること。



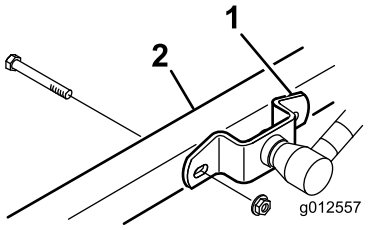
g012538

図 9

1. スプリングラッチ
2. 後取り付けブラケット
3. 前取り付けブラケット
4. 補強プレート
5. ブロアのブレース

3. 新しい補強プレートをデッキ裏側にセットするデフレクタを取り付けていた穴に合わせる図 9。
4. 前後のブラケットと補強プレートをデッキに取り付ける先に外したキャリッジボルト⅜-16 x ⅞"2本とフランジナットを使用する図 9。ボルトの頭がデッキの上に来るように取り付けること。
5. ブロアを取り付けブラケットに固定しているノブ 2 個 を取る。ブロアを外す。
6. 各ブラケットを型紙として、直径 8.7mm の穴をあと2つ開ける2 つは後ブラケット用、1つは前ブラケット用。補強プレートを型紙として利用して、後ブラケット用の穴直径 8.7mmを1つ開ける。

   注 ドリルを使うとき、キャスタアームを傷つけないように注意してください。
7. ブラケットと補強プレートをデッキに取りつけるボルト5/16-18 x ¾"とロックナットを使用する 図 9。ボルトの頭がデッキの上に来るように取り付けること。
8. ブロアのブレースを固定する後取り付けブラケットへの固定はボルト⅜-16 x 1"2本とロックナット図 9、キャスタアームへの固定にはボルト⅜-16 x 1"を使用する。
9. 昇降アームブラケットをキャスタアームに取り付ける時に、先に取り外したボルトとナットを使って、ブロアのブレースの反対側を昇降アームブラケットと右キャスタアームに取り付ける。



g012557

図 10

1. 昇降アームのブラケット
2. 右側キャスタアーム

6

デッキデフレクタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	前デフレクタ
1	後デフレクタ
1	後シェルフ
1	左シェルフ
1	右シェルフ
6	キャップスクリュ, 5/16 x ⅝"
6	ロックナット, 5/16"
4	キャップスクリュ, ⅜ x 1"
4	ロックワッシャ, ⅜"
3	キャップスクリュ, ¼ x 1"
3	キャップスクリュ, ¼ x ¾"
6	ロックナット, ¼"

手順

1. 前デフレクタをデッキにセットするデフレクタの後部を排出口に合わせてセットする 図 11 と 図 12。

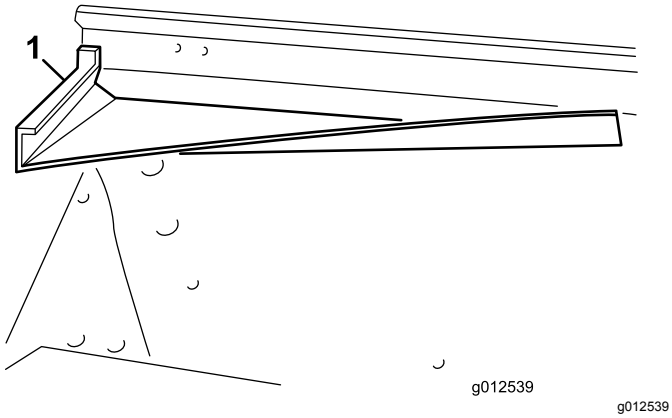


図 11

1. 前デフレクタ

2. デフレクタを型紙として、デッキの前と上に直径 8.7mm の穴を開ける。
3. デフレクタの前側の2枚の取り付けタブをデッキに固定するボルト5/16-18 x ⅝"とロックナット5/16-18"を使用する。
4. 前取り付けブラケットの右前の角とデフレクタの上部のタブをデッキに固定するボルト5/16-18" x 1"とロックナットを使用する。

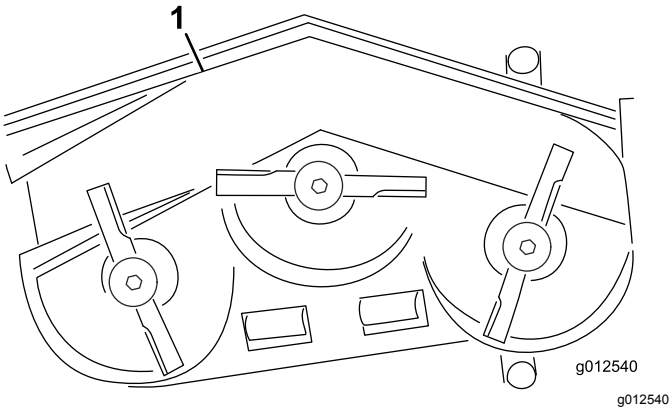


図 12

1. 前デフレクタ
2. 後デフレクタ
3. 後シェルフ
4. 左シェルフ
5. 右シェルフ

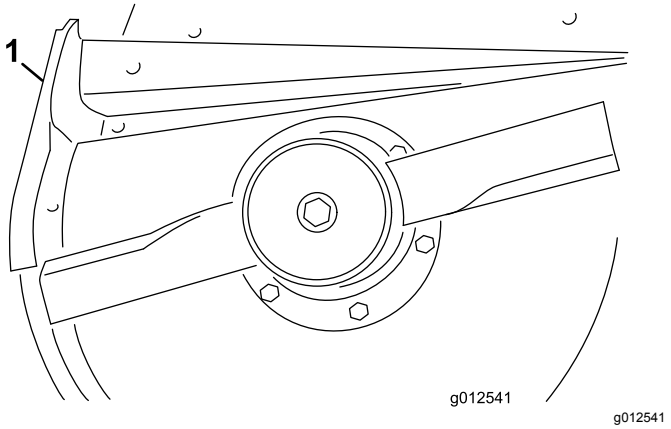


図 13

1. 後デフレクタ

5. デフレクタを型紙として、デッキに直径 8.7mm の穴を3つ開ける。
6. デフレクタをデッキに固定するボルト5/16-18 x ⅝"3本とロックナット5/16-18"を使用する。
7. 左右のシェルフを取り付けられるように、デッキ底面のエッジ部にある溶接痕を平らに削る。研削が終了したらデッキを塗装する。
8. デッキの既存の穴に後シェルフを取りつけるボルト⅜-16 x 1" 4本とロックワッシャ⅜"を使用する 図 14。

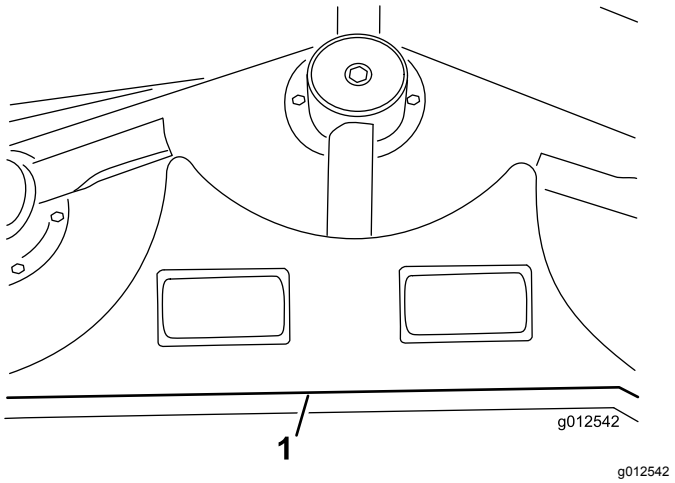


図 14

1. 後シェルフ

9. 左シェルフを、後シェルフの左端とデッキのエッジに合わせてセットする 図 12 と 図 14。
10. 左シェルフをデッキに取りつけるボルト ¼-20 x 1" 2本、ボルト¼-20 x ¾"1本、ロックナット3個を使用する図 15。ボルトは、頭部がデッキの内側にくるように取り付ける。

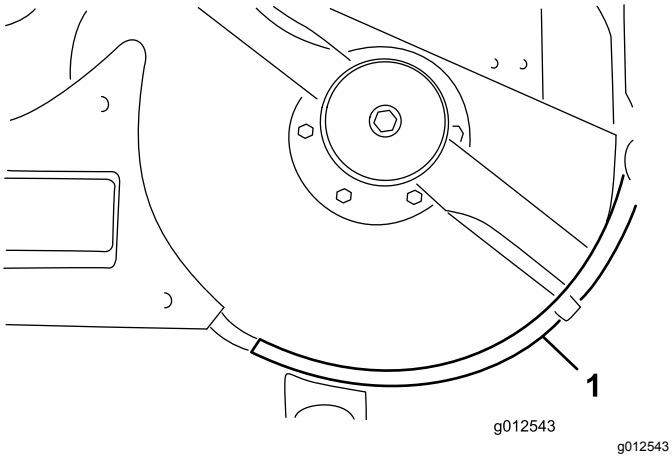


図 15

1. 左シェルフ

11. 右シェルフを、後シェルフの右端とデッキのエッジに合わせてセットする 図 12 と 図 16。左シェルフを型紙として、デッキに直径 7.1mm の穴を3つ開ける。

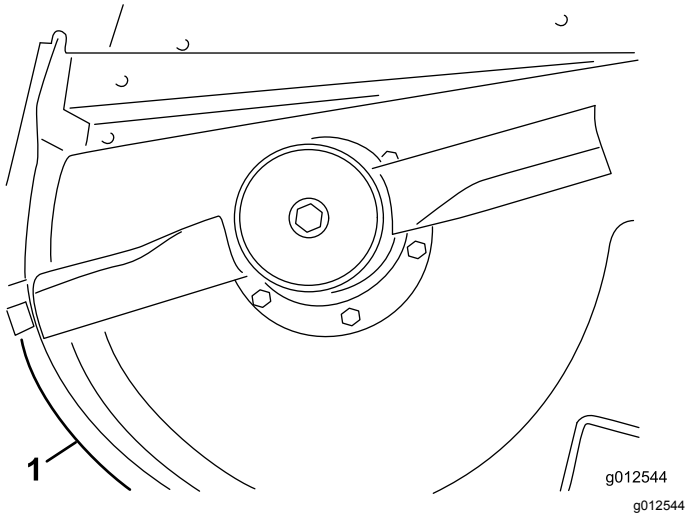


図 16

1. 右シェルフ

12. 右シェルフをデッキに取りつけるボルト ¼-20 x 1"1本、ボルト¼-20 x ¾"2本、ロックナット3個を使用する。ボルトは、頭部がデッキの内側にくるように取り付ける。

7

新しいデフレクタストップを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	デフレクタストップ
2	キャップスクリュ, ¼ x ¾"
2	ロックナット, ¼"

手順

1. 新しいデフレクタストップを型紙として、元の平らなデフレクタストップの上にセットする 図 17。新しいデフレクタストップの底面が面一となっており、デッキ側面に接触し、デフレクタサポートの外側エッジに平行であることを確認する。

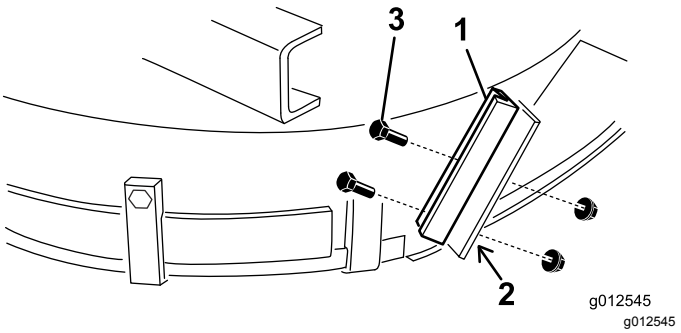


図 17

1. 新しいデフレクタストップ
2. 穴を空ける
3. ボルトとロックナット

2. 古いデフレクタサポートを貫通させて直径 7.1mm の穴を2つ開ける。
3. 古いデフレクタストップに新しいデフレクタサポートを取り付けるボルト¼-20 x ¾"2本とナットロックナット¼-20"を使って 図 17 のように取り付ける。

8

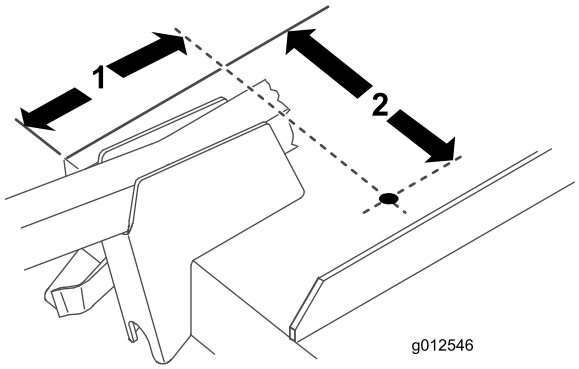
アイドラアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	アイドラアームアセンブリ
1	ピボットねじ
1	ブッシュ
2	ワッシャ
1	ロックナット, ⅜"
1	スプリング
1	ねじ山付きロッド
2	フランジナット, 5/16"
1	スプリングブラケット
2	キャップスクリュ, ¼ x 1"
2	ロックナット, ¼"

手順

1. 図 18 に示す寸法に従って、デッキに直径10.3mm の穴を1つ開ける。図中の寸法は、デッキの右前角および排出口のエッジから測定したものである。便宜上、ブロア用ブラケットは描かれていない。

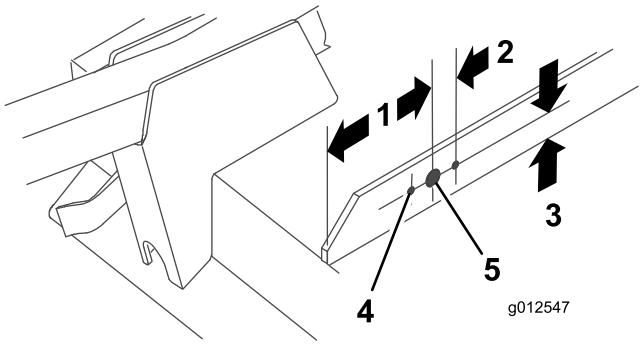


g012546

図 18

1. 6-13/16"
2. 9-1/8"

2. 図 19 に示す寸法に従って、右ブリッジバーに直径 20.6mm の穴を1つと直径10.3mm の穴を2つ開ける。

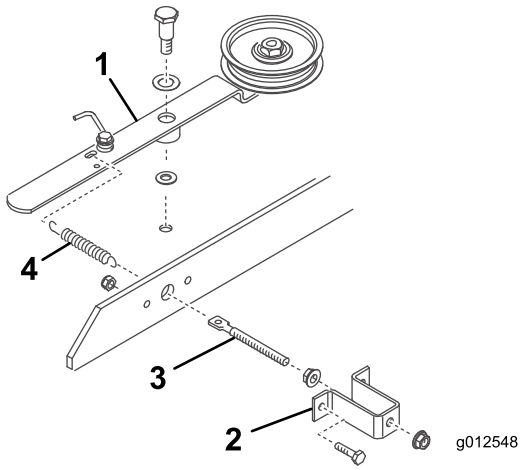


g012547

図 19

1. 127mm
2. 27mm (2)
3. 1"
4. 直径 10.3mm (2)
5. 直径 20.6mm

3. ねじ山付きロッドに、フランジナット5/16-18"を取り付けて約 5cm 進める図 20。



g012548

図 20

1. アイドラプーリのアーム
2. スプリングブラケット
3. ねじ山付きロッド
4. スプリング

4. ねじ山付きロッドをスプリングブラケットの大きい方の穴に入れ、もう1個のフランジナット5/16-18"で仮止めする図 20。フランジナットはまだ本締めしない。
5. ねじ山付きロッドのもう一方の端部をブリッジバーの穴に入れ、ボルト2本とロックナットでスプリングブラケットをブリッジバーに固定する図 20。
6. スプリングの短い方の端をねじ山付きロッドの穴に引っ掛け、長い方の端をアイドラアームの穴に引っ掛ける図 20。
7. デッキにアイドラプーリアームを取り付けるピボットねじ3/8-16"、スラストワッシャ1/2"、アイドラアーム、スラストワッシャ3/8"、ロックナット3/8-16"をデッキ下側に使用する図 20。

重要 **この時点では、ねじ山付きロッドのフランジナットを締め付けないでください。ブロアアセンブ**

リとベルトの取り付けが終わった後にスプリングのテンションの調整を行います。

9

ブロアを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ベルト

手順

1. 小さいデッキスピンドルプーリにベルトを掛ける。
2. ブロアを取り付けブラケットの整列用スタッド 図 21 入れてベルトをブロアプーリに掛け回す。

   注 ブロアがブラケットに入りにくい場合は、整列ボルトを少しゆるめてください。

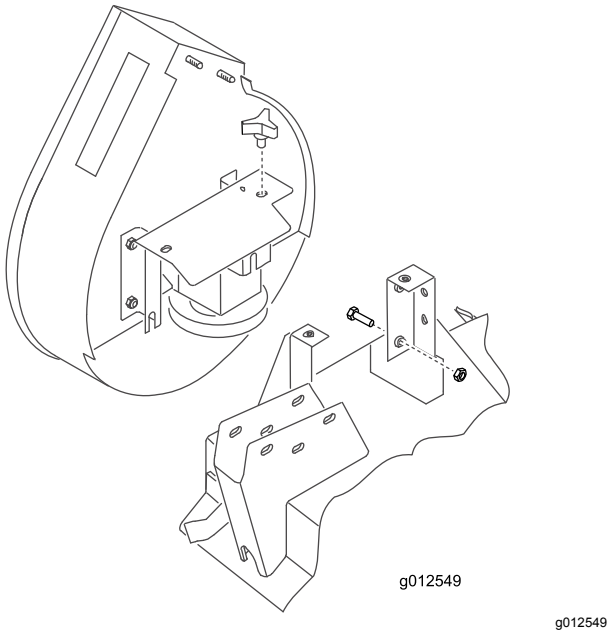


図 21

3. ブロアをブラケットに固定するノブ2個を使用する。
4. ねじ山付きロッドのフランジナットを調整して、スプリングの長さが 12.4cm にとなってベルトに適切な張りが出るようにする。

10

バンパーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バンパー
4	キャップスクリュ, 5/16 x 3"
4	ロックナット, 5/16"

手順

1. 図 22 に示す寸法に従って、右前キャスタアームブラケットの両方の壁に、直径 8.7mm の穴を1つ開ける。

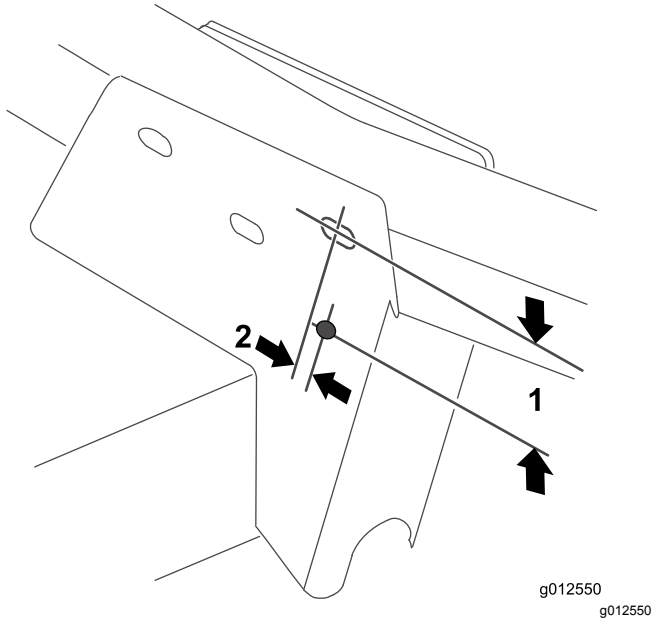


図 22

1. 2½"　　2. ⅜"

2. バンパーの前取り付けプレートの上穴を、キャスタアームブラケットに固定するボルト5/16-18 x 3"とロックナットを使用する図 23。

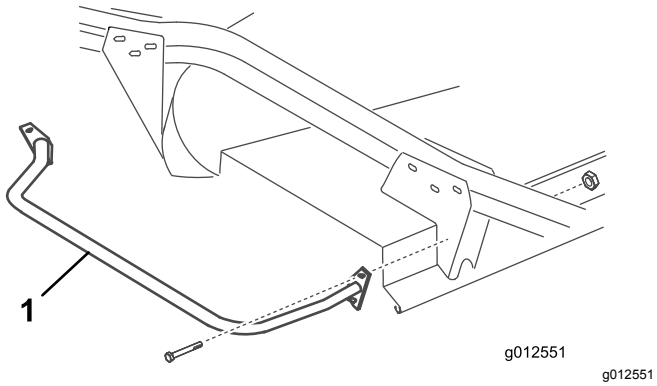


図 23

1. バンパー

3. バンパーに付いている両方の取り付けプレートを型紙として、前後のキャスタアームブラケットの壁に、直径 8.7mm の穴をあと3つ開ける。

11

新しいデッキカバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	トリムモールディング
1	デッキカバー

手順

1. 右側ブリッジバーの上にトリムモールディングを差し入れ、スプリングブラケットの側面がトリムモールディングの遠い方のエッジから 10cm の距離になるように位置決めする 図 24。

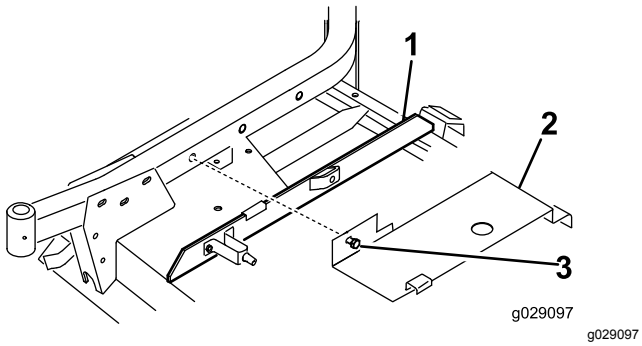


図 24

1. トリムモールディング
2. カバー
3. ボルト

2. カバー取り付けボルトを右キャスタアームの穴に入れ、デッキカバー 図 24 の後部を後チャネルピンに引っ掛ける。カバーはモールディングに寄りかかるようになる。必要に応じてモールディングを調整する。
3. カバーを右キャスタアームにボルトで固定する。

12

新しい安全ガードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ベルトガード
1	プーリガード

手順

1. 機体にベルトガードを取り付ける図 25。

   注 機体に付いている金具を取り外し、それを利用してガードを取り付けてください。

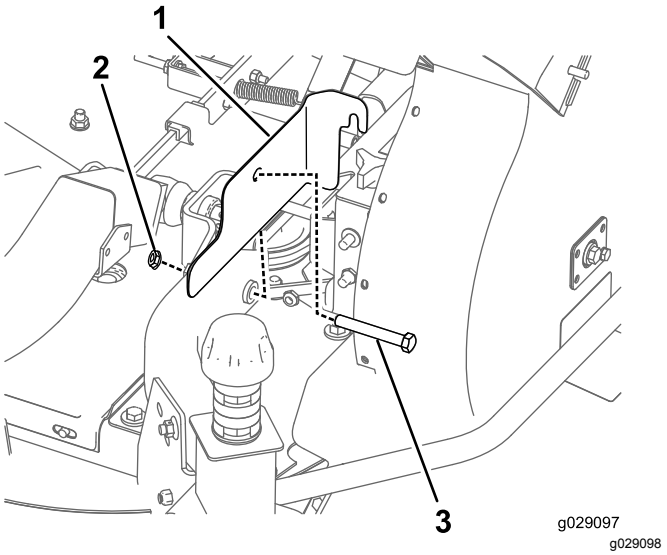


図 25

1. ベルトガード
2. ナット
3. ボルト

2. 機体にプーリガードを取り付ける図 26。

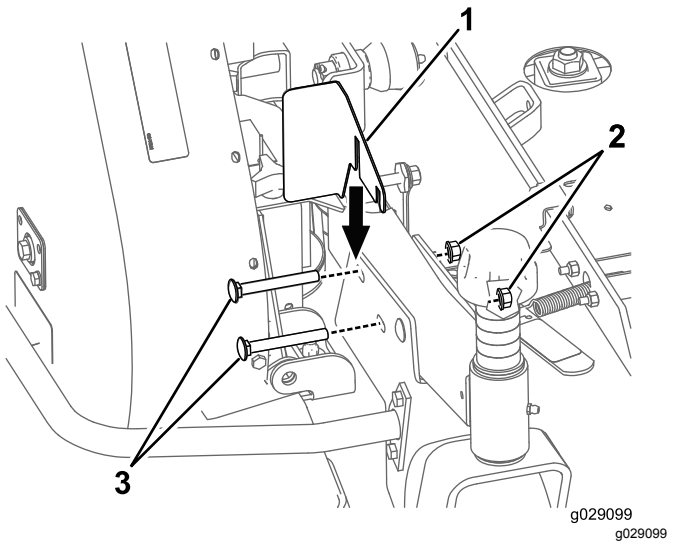


図 26

1. プーリガード
2. ナット
3. ボルト

注 機体に付いている金具を取り外し、それを利用してガードを取り付けてください。

13

新しいカウンタバランススプリングを取り付ける 200 シリーズのトラクションユニットのみ

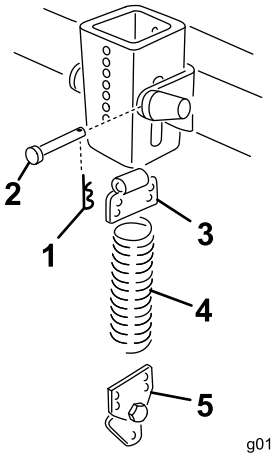
この作業に必要なパーツ

1	カウンタバランスのスプリング

手順

ブロアアセンブリの重量とのバランスを取るために、機体右側についている軽いカウンタバランススプリングをキットに付属している重いスプリングに取り換える必要があります 図 27 。

1. スプリングアセンブリについているヘアピンコッターとクレビスピンを取り外してアセンブリをブラケットから取り出す。
2. 上下の取り付けブラケットからスプリングを外す。
3. 上下の取り付けブラケットに新しい重いスプリングを取り付ける。スプリングが全部の穴に完全に通っていること、またブラケットの平らな面に接触していることを確認する。



g012553

図 27

1. ヘアピンコッター
2. クレビスピン
3. 上部ブラケット
4. スプリング
5. 下部ブラケット

4. クレビスピンとヘアピンコッターで、スプリングアセンブリをブラケットに固定する。

14

刈り込みデッキにトラクションユニットを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 駐車ブレーキを掛け、走行ペダルがニュートラル位置、PTOレバーがOFF位置にあることを確認する。エンジンを始動し、昇降アームを上昇させる。エンジンを停止する。
2. トラクションユニットの前に刈り込みデッキをセットし、ギアケースの入力軸をPTOシャフトに合わせて入力軸を取り付ける。
3. 昇降アームを注意深く下降させて昇降アームのブラケットとキャスタアームを整列させる。ギアケースの入力シャフトの穴と PTO シャフトの穴とを整列させてロールピンを取り付ける。
4. ボルト4本とナットで、昇降アームブラケットとブロアのブレースの側部をキャスタアームに固定する。
5. エンジンを始動し、刈り込みデッキを上昇させる。カウンタバランスのスプリングを刈り込みデッキショルダボルトとロックナットを使用する。

15

新しいデカルを貼り付ける

この作業に必要なパーツ

1	デカル, 警告用

手順

危険警告デカル P/N 66-1340、CE用の場合は 93-7824 をデッキの前側のエッジ部分の右側キャスタアームの内側に貼り付ける。

16

ブロアハウジングのシュートを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	シュート･アセンブリ

手順

重要 **ブロアキットに入っているシュートを 0.42m³ 15 立方フィート のホッパーキットと組み合わせて使用する場合には、ブロアとホッパーを適切に接続できるように、シュートの一部を切断する必要があります。それ以外のキットと組み合わせる場合にはステップ3へ進んでください。**

1. シュートの 図 28に示す位置にマーカーで印をつける。

   注 シュートにあらかじめ切断ラインが表示されている場合があります。

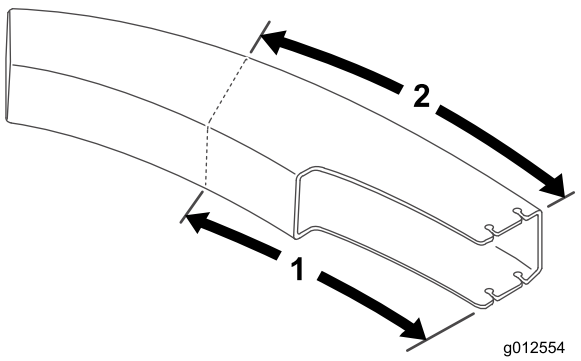


図 28

1. 612mm　　2. 705mm

2. シュートの周囲全体にマーカーで切り取り線を入れ、のこぎりで切断する。
3. 刈り込みデッキを希望する刈高にセットする。
4. シュートをブロアの開口部と取り付けスタッドにセットする図 29。

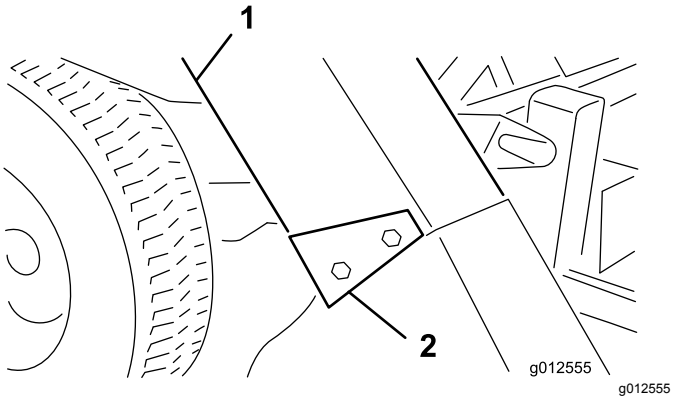


図 29

1. シュート　　2. シュートブラケット

5. ホッパーのフードを下ろし、シュートをフードの鼻にあわせる。シュートを固定するロックナット 5/16" 本と、シュートブラケット4個を使用する。ブラケットの広い方の端部が後ろを向くように取り付ける。

運転操作

運転の特性

9または15 立方フィート0.25または0.42立米のポッパーキットと共に使用する場合。

⚠ 注意

集草装置を外すと可動部品が露出する。

デフレクタを外した状態で運転しないこと。

エンジンが連続してフル回転をほぼ一定に維持できるように走行ペダルの踏み込み具合を調整するのがベストです。このコツは、カッティングユニットへの負荷が大きくなったら走行ペダルの踏み込みを浅くして走行速度を遅くし、走行に掛かる負荷を下げてやることです。これにより、エンジンが過負荷になることなく、走行系統と刈り込み系統の両方にバランスよくパワーを配分され、ブレードの高速回転が維持されますので、きれいな刈り込みとスムースな吸い込み、そしてバッグへの集草が可能になります。ブロアの速度が急に落ちた場合には「詰まり」が発生した可能性があります。それぞれの使用方法の詳細については、*刈り込みデッキとトラクションユニットのオペレーターズマニュアル* を参照してください。

⚠ 危険

可動部に近づくことは非常に危険である。

シュートやブロア、デッキには、絶対に手や足を入れないこと。

1. この集草装置は、芝草がぬれている時でも乾いている時でも使用可能です。高く伸びすぎた草を集草すると、ホッパーがすぐに一杯になってしまいます。
2. ぬれた草、重い草などは、シュートの一番上まで飛ばせない場合があります。シュートの詰まりを防止するために、このような草刈かすは底部にある穴から下に落ちてきます。このような状態に気がついたら、走行速度を遅くしてください。
3. バンパーは、ブロアハウジングを保護するためのものですが、長く伸びている障害物から保護することはできません。破損防止のため、障害物からは十分離れて作業してください。トリミングは、デッキの左側のみで行ってください。

⚠ 注意

バガーを周囲にぶつけると機体を損傷する可能性がある。

- **ホッパーを塀などに当てないように十分ご注意ください。**
- **トリミングは、刈り込みデッキの左側のみで行ってください。**

4. 刈り込み作業中は、大量の刈かすが吸い込まれないまま残されていないか頻繁にチェックしてください。吸い残し、刈り残しは、ブロアやデッキの詰まりが原因の可能性があります。運転を停止し、PTOを解除し、ブレーキを掛けてエンジンを停止させましょう。そして、シュートやブロア、デッキが詰まっていないか点検してください。詰まっているものを取り除く時は必ず棒などを使ってください。ブロアのベルトの張りを点検してください。スリップしている場合には張りを調整してください。
5. 刈り込み作業はあまり日にちをあけずに特に成長期行いましょう。もう少し短く刈り込みたい場合には、二度刈りしてください。きれいな刈り込みにするために左右に少しずつオーバーラップを作りながら刈ってください。

***重要*トレーラやトラックで輸送する場合には、集草装置のフードをしっかりと固定しておいてください風に煽られて開くと破損する恐れがあります。**

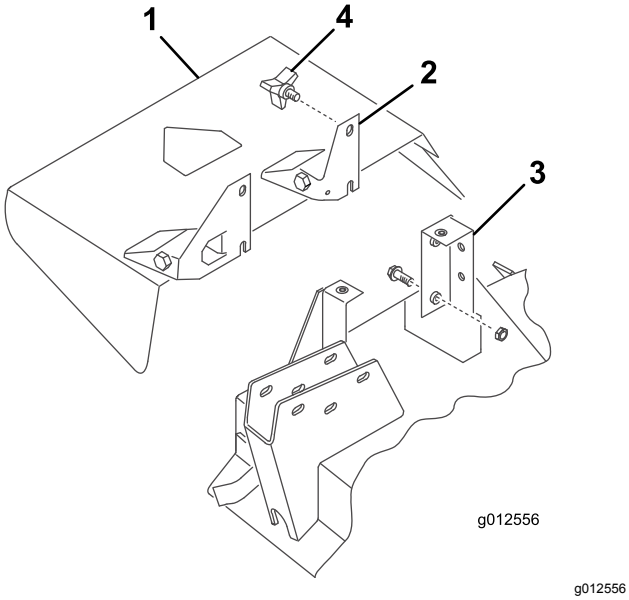
ブロアを外す

1. エンジンを止め、アイドラを解除する。固定フックを使ってアイドラを前キャスタアームブラケットに固定する。
2. ベルトカバーを外し、スピンドルアセンブリからベルトを外す。カバーを取り付ける。
3. ブロアを取り付けブラケットに固定している2つのノブを外し、ブロアとベルトとシュートを取り外す。
4. ブロアアセンブリを取り付けた時と逆の手順で取り外す。

デフレクタの使用について

ブロアを外した状態で刈り込みデッキを使用したい場合の手順について説明します。デフレクタには新しいピボットが取り付けられているので、デフレクタをブロアのブラケットにすぐに取り付けることができます。

1. デッキからバンパーを取り外す。
2. デフレクタのピボットブラケットの下側のスロットを、デッキのブラケットのボルトに入れる図 30。



g012556

図 30

1. デフレクタ
2. ピボットブラケット
3. デッキ・ブラケット
4. ノブ

3. ノブ2個を使用してデフレクタを固定する。

保守

- 50 運転時間ごとに、ブロアのギアボックスのインペラにゆるみが出ていないか点検してください。インペラシャフトボルトをを 25-25.8 N·m 2.5-2.7 kg.m = 220-230 in-lb にトルク締めしてください。
- 刈り込みが終了したら毎回、フード、シュート、ブロア、デッキ下を洗浄してください。特にデッキ下は毎回水で洗浄してください。内部にごみが大量にこびりついたままで放置すると、適切に集草できなくなります。
- 50 運転時間ごとにベルトの張りと磨耗の点検を行ってください。張りを点検するには、アイドラ取り付けねじをゆるめ、アイドラレバーをにセットし、アイドラプーリをブロアベルトにしっかり押し込みます。調整ができたらねじを締め付ける。
- ブロアのギアボックスはほとんど整備する必要はありません。50運転時間ごとにオイル漏れの点検をしてください。万一オイル漏れを発見したら、シールを交換し、モリブデン系の高品質グリスイオウ分を含まないものを 60 cc 補給してください。再組み立て前にベアリングにこのグリスを充填してください。
- *デッキとトラクションユニットの整備についてはそれぞれの オペレーターズマニュアル* を参照してください。
- カッティングユニットはいつもきれいにしておきましょう。特にエンジン部にほこりがたまらないように注意してください。ボルトやナットがゆるみなく締まっていることを確認してください。デフレクタ、バッフル、シールドを定期的に点検し、磨耗してきたら交換してください。

組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
30506	403000001 以上	グランドマスター 200/3280-D/3320 シリーズ側方排出デッキ用 62" ブロアキット	GM200 62" BLOWER KIT	62" ブロアキット	2006/42/EC, 2000/14/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



John Heckel
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
December 20, 2018

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡くださいlegal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あんたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようにお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが張られた製品を見かけることがあるでしょう

WARNING: Cancer and Reproductive Harm—www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all.

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえてProp 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。

Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーのみ2 年経過後は日割り計算とします。詳細についてはバッテリーのサービスマニュアルを参照のこと。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。 摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。